

CHIBA
UNIVERSITY

国際教養学部

2025



国際教養学部

COLLEGE OF LIBERAL ARTS
AND SCIENCES

国際+日本+科学

文理混合による新たな学問の扉を開こう

現代社会が直面する複雑な問題に対応するには、俯瞰的な視野を持ち、さまざまな学問分野を横断しながら、幅広い知識やアイデアを駆使して、解決していく必要があります。

文系と理系が一緒になった国際教養学部では、グローバルイシュー（世界が抱える課題）について、日本の文化・技術を活かし、独自の視点から解決する能力を育てていきます。

そして、既存の価値観にとらわれず自由に、そして主体的に物事に取り組む「個」の力を育て、世界に発信する人材を養成していきます。



CONTENTS

P3 学部長挨拶

P4 国際教養学部 教員一覧

P5 国際教養学部 概要

“知識を単なる知識にとどめず、実際に活用して課題を解決する。”このような実践的な力を身に付ける教育こそ新時代にふさわしい教育であると国際教養学部は考えます。

P7 カリキュラム

国際教養学部では、世界を舞台にした文理混合の課題解決型教育を実践します。入学後、教員の指導とSULAのサポートを受けながら、主体的な履修を通じて、課題の発見・分析・解決の能力および発信力を体系的に獲得していきます。

P9 留学について

P10 学習環境

P11 入学者選抜方法等について

P14 在学生からの声

Global

国際社会で活躍する人材を養成します

Innovation

新たな価値を創造します

Blend

学問領域を超えて学びます



Greeting

学部長挨拶

国際教養学部は文系理系にとらわれない幅広い学びをもとに、課題解決に取り組める力を養い、そして世界に発信できる人材育成を目指しています。

世界の中における日本を意識しながら、地球規模の解決すべき課題（イシュー）を発見し、その解決の道筋を模索し、解決方法を実践的に提案していくという、「課題解決型の学び」を進めていきます。

何か定まったひとつの学問分野の中だけで考えず、課題解決に必要な複数の学問分野を見出し、それらを交差させながら、越境していくことが必要です。国際教養学部が文理混合を理念として掲げているのは、そのためです。自らの主たる専門を定めるのは試行錯誤のなかから定めてよいという学びです。

「専門の学問分野を早くに定めることはない。まずは複数の学問分野を越境しながら考えていこう。」これが国際教養学部における学びの基盤であると考えています。



では千葉大学国際教養学部では、どのような人材に育ってほしいかについて、以下の2つの観点で記します。

■既成の枠組みにとらわれないイシューベースの思考

文系理系という枠組みで見てしまうとその段階で既成の枠組みに陥ります。そもそも文系理系という枠組みに分けず、あらゆる分野に触れることに挑戦できる人材の養成を目指します。そのためには「現代社会で問題になっていることは何か？」という問いから考え、その解決方法を探るためにどのような学問的方法（ディシプリン）があるのかを探る、というイシューベースの思考プロセスで考えていきます。

■発信力を意識した対話スキルの養成

イシューを深めるために必要な行動が対話です。ディスカッション、意見調整、ブレインストーミングなどあらゆる対話の回路を意識した学びを目指します。そのためアクティブラーニング形式の授業、キャンパスを出て学ぶ留学、そしてフィールド系の授業も多く用意しています。そして対話を深めるために、多くの人が共有できる言語を選択して対話する意識を磨きます。対話のツールで英語を使う場合、留学先の母語を使う場合、また、日本語がよい場合など、言語のチャンネルを意識した対話のできる人材育成を目指します。

みなさんは、これまでの人生で体験してきたことがらも違えば、それぞれの関心や希望そして考え方、文化的背景も異なるでしょう。そうしたみなさんの多様性を尊重し生かすことができるよう、教職員と学生の距離が近い少人数教育でアクティブラーニング形式の授業を多く用意しています。みなさんの試行錯誤と悩みを乗り越えられるように、教職員と学修支援職員（SULA）が伴走しますので、国際教養学部で新しい学びのあり方に挑戦していきましょう。

国際教養学部長

和田 健

Faculty

国際教養学部 教員一覧

(なお、本学部の全教員は、大学院国際学術研究院に所属している)

国際教養学部 教員一覧(五十音順)

(2024年5月現在)

氏 名	職 名	分 野
五十嵐 洋己	准教授	国際社会学、教育社会学
石戸 光	教授	国際経済学
上原 浩一	教授	植物系統分類学、生態遺伝学
ガイタニティス ヤニス	准教授	日本学、宗教社会学、医療人類学
片桐 大輔	教授	イノベーション、アントレプレナーシップ(企業家精神)、テクノロジー・スタートアップ(技術商業化/起業)
神里 達博	教授	科学技術社会論、リスク論、科学史
串田 正人	教授	ナノ・マイクロ科学、電気電子工学
見城 悌治	教授	日本史(思想文化)、東アジア交流史
小泉 佳右	准教授	運動生理学、健康科学
高 民定	准教授	社会言語学、日本語教育、韓国語教育
小林 聡子	准教授	教育学、言語人類学、質的研究方法論
崎山 直樹	准教授	歴史学
佐々木 綾子	准教授	国際社会学、国際社会福祉論
周 飛帆	准教授	社会学、移民研究
白川 優治	准教授	教育社会学、教育行財政学、高等教育論
鈴木 雅之	教授	建築学、地域研究
タオ ポー	講師	日米関係、キリスト教、グローバル・ヒストリー
高橋 信良	教授	フランス語学、舞台芸術論
高光 佳絵	教授	国際政治史、アメリカ外交史、政治学
竹蓋 順子	教授	英語教育学、教材開発、教育工学
田島 翔太	助教	地方創生、建築学(環境)、地域起業論
谷藤 千香	准教授	スポーツ経営学、スポーツ政策学
徳永 留美	准教授	人間情報学、視覚情報処理、色彩工学
永瀬 彩子	教授	都市環境デザイン学
西尾 悠子	講師	ドイツ文学
西住 奏子	准教授	言語学、日本語教育
ニッタ ジョエル	准教授	進化生物学
野村 和之	助教	教育学、日本語教育、異文化間理解
パシュキヤピチュウス アルギルダス	准教授	デザイン学
ピオンティーノ ユリアン	助教	日本史、韓国史、日韓関係史
東島 仁	准教授	科学技術社会論、研究倫理、科学コミュニケーション
福田 友子	准教授	国際社会学、移民研究
本間 祥子	助教	年少者日本語教育、海外子女教育、実践研究
三野 弘文	教授	物理学
森川 セーラ	准教授	英語教育
山口 智志	准教授	健康・スポーツ科学、整形外科科学
吉田 修二	准教授	堆積学、自然環境、防災
吉野 文	教授	応用言語学、日本語教育
与那覇 信恵	准教授	英語教育、CALL
和田 健	教授(学部長)	民俗学、地域研究、文化人類学
渡邊 誠	教授	デザイン学

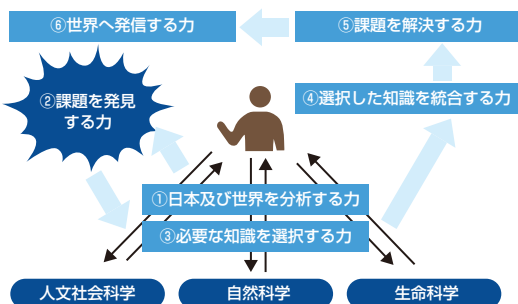
Outline

国際教養学部概要

国際教養学科[1学部1学科] 定員/1学年90名 専任教員/41名

涵養する能力のイメージ

日本及び世界に生じている様々な事象を分析して自ら課題を発見し、必要な知識を選択・統合することにより、日本の視点から課題を解決する力を涵養するとともに、その解決策を世界へ発信する力を育成



特色1 文理混合による課題解決型教育

従来の国際教養教育は人文社会科学が主流でしたが、現代社会の複雑な課題の解決には自然科学や生命科学の視点が欠かせません。そこで千葉大学の国際教養学部では、文理混合教育を実践します。これは、総合大学である千葉大学だからこそその強みと言えます。また、課題解決型教育として、従来からの発想を転換し、最初から決められた学問分野を出発点とするのではなく、課題認識からスタートし、その解決のための知識を選択・統合し、解決能力を育む教育を実践します。

特色2 テーラーメイド教育とSULAによる学修支援

国際教養学部では、学問分野の境界を越えた知識や手法で国際社会に生起する課題の解決を目指します。学生はひとりひとりが設定した課題に応じて、その解決に必要な科目をジャンルを問わず履修します。どのような科目を履修するか、課題解決に必要な活動体験や海外留学をいつどのように行うか、教員やSULA(Super University Learning Administrator)と呼ばれるスタッフが相談にのりながら、学生個々のニーズに合わせて「テーラーメイド教育」を行います。



教員の指導とSULAのアドバイスを受けながら
学生ひとりひとりが異なる学びを実践

特色3 II-BEAT(ツービート): インテンシブ・イシュー教育プログラム



「インテンシブ・イシュー教育プログラム」(Intensive Issue Based Education and Training Program:II-BEAT)とは、メリハリをつけたターム運営によって「イシュー(課題)ベースの学び」を深化させる取り組みです。このII-BEATによって、2022年度より、3年次のカリキュラムが「集約ターム」と「セルフデザインギャップターム」とを組み合わせることに刷新されました。集約タームでは、社会課題につながるテーマについて、短期集中的・分野横断的に学修します。セルフデザインギャップタームでは、必修科目がないため、それぞれの興味関心に応じて、留学、野外実習、実験、インターンシップ、地域でのプロジェクトなど、学内外での中長期の学びや活動を自由に組み合わせて体験しやすくなっています。



国際教養学部の養成する人材像

私たちの社会が持続的に発展するためには、環境問題や人間の安全保障など既存の学問分野単独では解決困難な課題と向き合っていかなければなりません。また、わが国の経済が停滞する中、世界最先端の科学技術や独自の文化を有するわが国の魅力が広く世界に認知されることは、ビジネスチャンスの増大等をもたらす、日本の経済発展、ひいては世界の発展に貢献するものであり、これを実現する人材が求められています。このような社会的要請に応えるため、国際教養学部は、「グローバル・日本・ローカル」という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備えた上で、俯瞰的視野、多元的な視点で物事を考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、その解決策を世界へ発信することができるグローバル人材の養成を目指しています。

特色4 アクティブラーニング

千葉大学では、アカデミック・リンク・センターやイングリッシュ・ハウスなど、学生が主体的に学べる場所が用意されています。また、双方向型授業設備を積極的に導入するとともに、大学院生による学習支援制度も運用されており、大学全体として学生の主体的な学びをサポートする環境が整っています。これらを基盤として、国際教養学部においてはアクティブラーニングを積極的に展開していきます。



特色5 ソーシャルラーニング

フィールドワーク、インターンシップ、ボランティアなど、国際教養学部はグローバルな世界と地域の双方を舞台にした活動体験を重視し、「現場で学ぶ・現場を学ぶ」を学修理念の中心に据えています。このような学修を通して、理論だけでなく実体験を通じた知識の活用と課題解決能力を育成します。また、これらの活動体験は、事前学習・事後学習を通じて体系的な科目として構成され、体験によって得た学びを個々のものとしてとどめるのではなく、普遍的な課題として考えることのできる能力を育てていきます。

特色6 海外留学

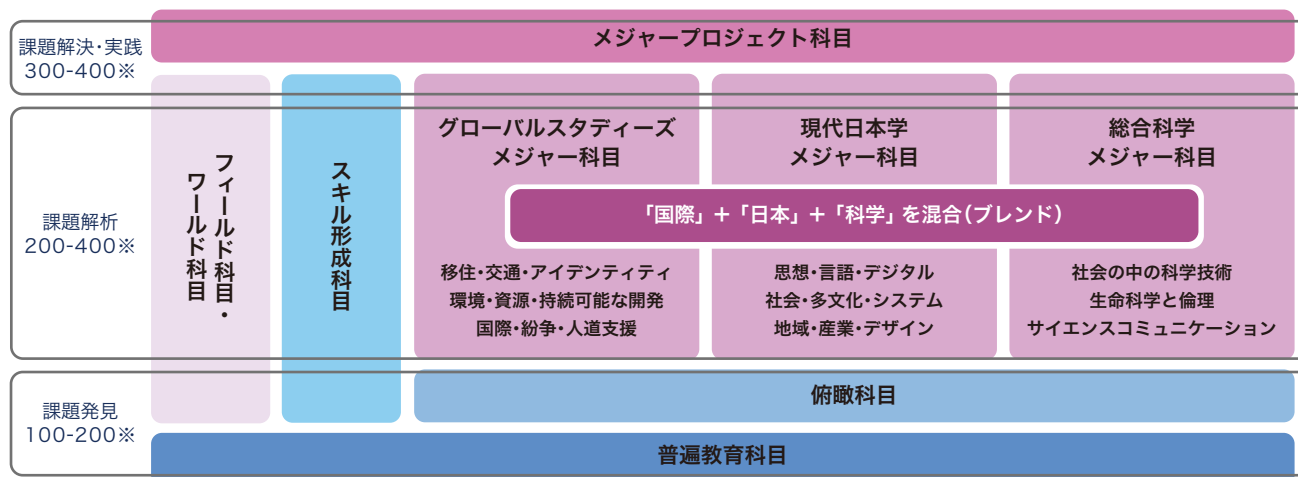
千葉大学では、2020年度から「全員留学」として卒業までに最低1回の留学を必須にしています。留学にも柔軟に対応可能な学事暦としてターム制(1年を6タームに分割)を導入しており、難易度・目的・期間別に体系的に整理された多様な留学プログラムが提供されています。国際教養学部では、異文化との接触、国際的な学生間の協働を通じた多元的な学びを目的に、学生が探究する課題の道筋に合わせて留学の時期や回数を決定できるようなサポート体制が整っています。



Curriculum

カリキュラム

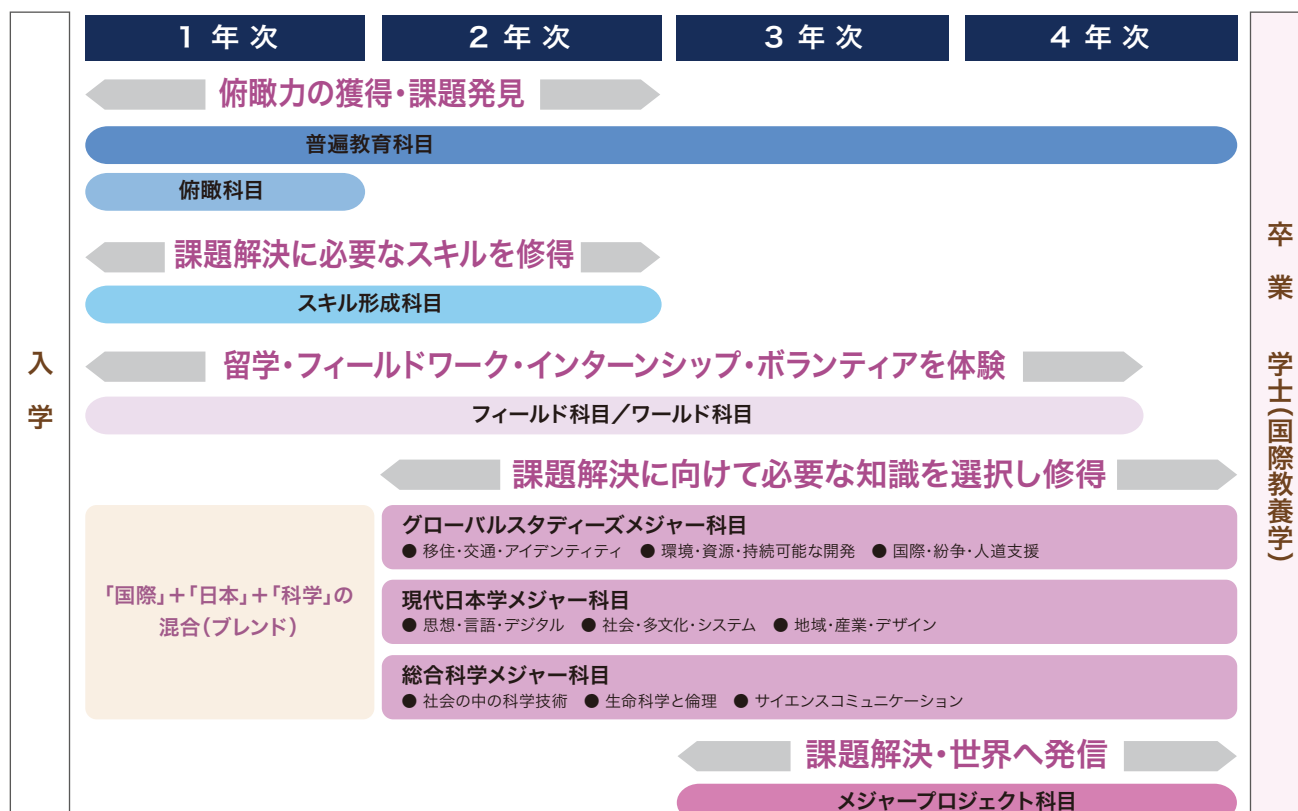
国際教養学部では、世界を舞台にした文理混合の課題解決型教育を実践します。入学後、教員の指導とSULAのサポートを受けながら、以下の科目群の主体的な履修を通じて、課題の発見・分析・解決の能力および発信力を体系的に獲得していきます。



※コース・ナンバリング・システムによるナンバリングコードで、授業科目の難易度の目安を示す。

普遍教育科目	全学の共通教育科目であり、学問の基礎について広く学んでいきます。
俯瞰科目 全科目必修	人文社会科学・自然科学・生命科学の学問領域を混合し、分野を越えた俯瞰力を身に付けます。 国際教養入門／人文社会科学基礎／自然科学基礎／生命科学基礎／グローバルイシュー論／現代日本論／総合科学論／グローバルイシュー演習／現代日本課題演習／総合科学コミュニケーション演習
スキル形成科目	専門的な語学や研究手法など、課題解決能力や発信力の基礎となるスキルを修得します。 国際教養CALL英語／アカデミックライティング(日)／アカデミックライティング(英)／研究方法論／学際研究方法論／史料分析／質的調査法／量的調査法／情報処理演習／自然言語処理／プレゼンテーションメソッド／科学的思考法／総合科学基礎実験実習／Current Affairs／未来のかたちとキャリアデザイン 等
フィールド科目	「現場で学ぶ、現場を学ぶ」をコンセプトとして、国内外における現場体験を通じ、課題発見・解決能力を身に付けます。 フィールド・スタディ／地域PBL型実習／持続的地域貢献活動実習／社会調査実習
ワールド科目	「世界で学ぶ、世界を学ぶ」をコンセプトとして、海外協定校等とのプログラムを通じ、課題発見・解決能力を身に付けます。 海外派遣プログラム
グローバルスタディーズメジャー科目	グローバルな問題の背景と構造を理解し、その解決に必要な知識を修得します。 [移住／交通／アイデンティティ] 世界史と世界地理／民族と国民／移民論／近代世界システム論 等 [環境／資源／持続可能な開発] 都市住環境論／持続可能な開発と経済／環境変動と自然災害／SDGsマネジメント 等 [国際／紛争／人道支援] 国際組織論／国際関係と歴史認識／NGO・NPO論／安全保障論 等
現代日本学メジャー科目	日本の技術、文化、社会の課題を理解し、それをもとにグローバルな課題の分析につなげる知識を修得します。 [思想／言語／デジタル] 現代言語社会論／第二言語習得論／日本の言語文化／文化と言語 等 [社会／多文化／システム] クリティカル日本論／現代社会と民俗／多民族社会としての日本／教育システム論 等 [地域／産業／デザイン] 地方創生論／工業デザイン／スポーツによるまちづくり／人口減の社会論 等
総合科学メジャー科目	諸科学の基礎を理解し、その中から解決すべき課題への新たなアプローチ方法の発見を目指します。 [社会の中の科学技術] 経済政策と科学技術／視覚情報処理／物理量計測実験実習／科学と社会的意思決定 等 [生命科学と倫理] 生命倫理／科学哲学／医療と文化／スポーツ医科学 等 [サイエンスコミュニケーション] サイエンスコミュニケーション論／サイエンスカフェ／科学技術社会論／環境とくらし 等
メジャープロジェクト科目	課題解決に向け、グループワーク・ディスカッションを重ねながら自らのプロジェクトを選択し、複数教員の指導のもと、卒業制作、卒業研究、卒業論文という形でプロジェクトを完成させます。 クロスメジャープロジェクト／メジャープロジェクト

入学から卒業までの履修の流れ



教育課程における留意点

- 卒業までに124単位を修得します。併せて、1回以上の海外留学が必須です。
- 3年次で1つのメジャーを選択しますが、選択したメジャー以外の科目も横断的に履修します。
- 授業科目のナンバリング・早期卒業制度・履修登録上限制度(CAP制)があります。
- 6ターム制(1年を6つの期間に分ける)により授業を実施します。
- 教育職員免許の取得はできません。
- 科目等については、今後変更することがあります。
- 「モジュールコース(特定の課題について深めるための集約的な科目群)」、「セルフデザインギャップターム(必修科目がなく、インターンや留学、野外実習・実験等をカスタマイズしやすいターム)」を導入しています。

卒業後の進路 ～さまざまな場所で活躍できる人材づくり～

国際教養学部卒業生は、幅広い分野で活躍しています。毎年、金融・マスコミ・運輸・情報通信・製造業・教育関係・販売・サービス業などさまざまな分野の民間企業に就職するとともに、日本企業の海外業務や外資系企業で国際的に働く卒業生がいます。国家公務員、地方公務員として活躍する卒業生、公共団体・NPOへの就職者も少なくありません。また、千葉大学をはじめとする大学院進学者もいます。人文社会科学、自然科学の幅広い専門分野の大学院進学者がいることが特徴です。卒業後の進路の具体的な状況は国際教養学部ウェブサイト(<https://www.las.chiba-u.jp/education/course/index.html>)を確認してください。



Study Abroad

留学について

千葉大学は、2020年度より、全ての学生に留学を卒業要件として「全員留学」を必修化していますが、国際教養学部では、2016年度の創設時からすでに、卒業までに1回以上の海外留学を必須としていました。千葉大学のさまざまな留学プログラムに参加できるだけでなく、学生自身が留学の目的を立てて計画し、それを実行できるようにサポートする体制が整っています。国際教養学部では、半年から1年間の派遣留学に挑戦する学生や、複数回の留学プログラムに参加する学生が多いことが特徴です。

主な留学の形態と渡航先

語学研修・文化体験	協定校での授業やワークショップ、現地の自然や文化施設などの見学を通して文化学習および外国語でのコミュニケーション能力の向上などを目的とした留学です。海外経験が少ない人のためのプログラムもあります。	アメリカ、カナダ、フランス、タイ、インドネシア、中国、韓国、台湾、オーストラリアなど
協働学習	外国語を媒介言語として、協定校等の学生と特定の課題の発見や解決に取り組むPBL (Project Based Learning) 型の留学です。	アメリカ、メキシコ、フィンランド、ギリシャ、ドイツ、タイなど
社会体験	環境保護や子供支援などのボランティア、企業でのインターンシップを組み合わせたプログラム、など社会体験を通してPBL型で学ぶ留学です。	マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、モンゴル、スリランカ、モザンビーク、ウガンダなど
研究	専門性をより高めるための留学です。短期間から長期間（1年）のものまであります。海外交流協定校との交換留学プログラムでは、単位互換が可能なものもあります。	アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、フィンランド、スウェーデン、ギリシャ、タイ、インド、オーストラリアなど

入学後の留学通算回数

	1回	2回	3回以上
2020年度入学生	77名	16名	3名
2021年度入学生	72名	6名	1名
2022年度入学生	29名	1名	0名
2023年度入学生	4名	0名	0名

● 2024年2月末時点(オンライン留学プログラムを含む)

中長期間の留学先大学

アメリカ	シンシナティ大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	オーストラリア	マッコーリー大学、ロイヤルメルボルン工科大学
カナダ	レジャイナ大学、プリンスエドワードアイランド大学、アルバータ大学	フィンランド	東フィンランド大学、ラップランド大学、セイナヨキ応用科学大学、ユヴァスキュラ大学
メキシコ	アグアスカリエンテス自治大学、モンテレイ大学	スウェーデン	リンショーピン大学
中国	江南大学、上海大学	フランス	パリ東大学
韓国	成均館大学校、中央大学校	イギリス	ノーザンブリア大学、ヨークセントジョン大学
タイ	マヒドン大学、カセサート大学、チェンマイ大学	ドイツ	ライプツィヒ大学、ゲッティンゲン大学
マレーシア	プトラ・マレーシア大学	ギリシャ	テッサロニキ・アリストテレス大学
インド	インド情報技術大学ジャバルプール校	ハンガリー	デブレツェン大学

● 派遣留学制度（協定校との交換留学プログラム）による受け入れ先のみを記載しています。

● この他に、学内で準備された各種留学プログラム（グローバル・スタディ・プログラム、グローバルインターンシップなど）があります。

海外協定校

千葉大学は、海外留学の整備に積極的に取り組んでおり、現在41カ国287の海外の大学と大学間交流協定を結んでいます（2024年6月現在）。日本人学生の海外派遣数は国立大学のなかでもトップクラスであり、多くの学生はこの協定校に留学しています。また、協定校以外にも、大学として多くの留学プログラムを用意しています。



留学についての詳細は、千葉大学留学生課 留学支援室ウェブサイト (<https://www.ryugaku.chiba-u.jp>) をご覧ください。



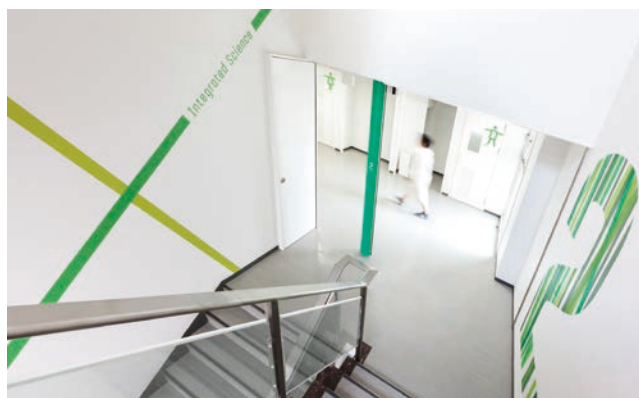
Learning Environment

学習環境

千葉市稲毛区にある広大な西千葉キャンパスの中にはケヤキやクスノキが多く配されており、学生たちは緑豊かな環境で、のびのびとしたキャンパスライフを送っています。西千葉キャンパスには、イングリッシュ・ハウスやアカデミック・リンク・センター(附属図書館)など、学生の主体的な学びを支える環境が整っています。



撮影:坂下智広



撮影:坂下智広

国際教養学部棟

国際教養学部の授業や様々な活動は、国際教養学部棟を中心に行われています。学部の特色であるテラーメイド教育やアクティブラーニングの実践を支えるため、ゼミ形式の授業や自主学習が可能なオープンスペース、授業資料等の電子ファイル共有を円滑に進めるための全館無線LAN配備、SULAの相談スペース、壁全面のホワイトボード、学部関連の図書閲覧スペース(LAS BOOKS)、利用目的や学習スタイル別に合わせて利用できるフロアなど、機能面でもデザイン面でも工夫を凝らした造りになっています。



アカデミック・リンク・センター

「考える学生」の創造を目的とする「アカデミック・リンク」という新たなコンセプトのもと、当センターでは静かな学習環境だけでなく、グループワークやプレゼンテーションのできる空間、紙や電子による教材やコンテンツ、そして学生の学びへの人的サポートを提供しています。



イングリッシュ・ハウス

各種英語試験対策や留学準備英語等の授業はもちろんのこと、英語教員との個別レッスン、学生アシスタント(SA)と行う20分間英会話、様々なイベントやクラブ活動を行っており、リラックスしながら英語を話せる環境が整った、国際交流の場となっています。



Admission

2025年度(令和7年度)入学者選抜方法等について

国際教養学部の入試の特色として、一般選抜(前期日程)では文系志向の学生と理系志向の学生の双方が受験することが可能となっています。また、特別選抜として総合型選抜を実施しています。

● 千葉大学国際教養学部 入学者受入れの方針

千葉大学国際教養学部が求める入学者

国際教養学部では、「つねに、より高きものをめざして」という千葉大学の基本理念に基づき、既存の学問分野単独では対応が困難な地球規模で生起する複雑な問題群の解決に寄与すべく、グローバル社会・現代日本・地域という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備えた上で、俯瞰的視野、多元的な視点でものを考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、当該解決策を世界に発信することができる人材の育成を目的としています。このような人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

- ① 現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人
- ② 本学部での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を主体的に高めていこうとする意欲を持つ人
- ③ 文系と理系の別や人文社会科学、自然科学、生命科学の学問分野の垣根を越え、修学に必要な基礎学力として十分な知識・技能を持つ人
- ④ 英語力をはじめ、言語について優れた運用能力を持つ人

入学までに身に付けて欲しいこと

幅広い好奇心と探求心を持ち、世界と日本で起きている出来事に関心を持つとともに、興味を持ったことを自ら調べ、考える姿勢を育ててください。そして、様々な領域の読書等を通じて、世界には多様なものの見方、考え方があることに触れてください。さらに、学校・地域・社会のなかで様々な活動に参加し、周囲の人たちとコミュニケーションをとることを通じて、人と関わることの楽しさと難しさを経験してください。

将来、国際的に活躍するための基礎力として、国語(日本語)と英語(外国語)の語学力はもとより、理系・文系を問わず、各教科の基礎学力をしっかりと身に付けてください。

● 入学定員・募集人員

学部名称	国際教養学部	募集人員	一般選抜(前期日程)	83名(個別学力検査<筆記試験>を実施します)
学科名称	国際教養学科		一般選抜(後期日程)	—
入学定員	90名		総合型選抜	7名(課題論述及び面接を実施します)

● <一般選抜(前期日程)>

入学者選抜日程等 ※日程については変更がありえますので、必ず千葉大学ウェブサイト等で確認してください。

募集要項公表	出願期間	2段階選抜の実施等	選抜期日	合格者発表	入学手続締切日
2024年10月下旬	2025年 1月27日(月)~2月5日(水)	実施しない	2025年2月25日(火)	2025年3月8日(土)	2025年3月15日(土)

入試に関する情報は、千葉大学
ウェブサイト及び千葉大学国
際教養学部ウェブサイト等で
公開しています。



【千葉大学ウェブサイト】<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/index.html>

【千葉大学国際教養学部ウェブサイト】<https://www.las.chiba-u.jp/>



次年度以降の入試の変更等については、千葉大学ウェブサイトに掲載されている最新の情報を確認してください。

● <一般選抜(前期日程)>

大学入学共通テストの指定教科・科目等

パターン	大学入学共通テストの指定教科・科目																										
	国語	地理歴史						公民			数学①		数学②		理科				外国語					情報			
①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B		公共 倫理	公共 政経	旧倫 政経	数Ⅰ A	旧数Ⅰ A	数Ⅱ BC	旧数Ⅱ B	物基／化基／ 生基／地基 から2	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ	旧情報
	1	2(注1)											1	1	1(注2)				1					1			
②	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合／ 歴史総合／ 公共から2	公共 倫理	公共 政経	旧倫 政経	数Ⅰ A	旧数Ⅰ A	数Ⅱ BC	旧数Ⅱ B		物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ	旧情報
	1	1(注2)											1	1	2				1					1			

※ 指定教科・科目を受験するパターンは、①②のいずれでも構いません。

(注1) 「地理歴史」及び「公民」では、共通テストのルールとして選択できない出題科目の組み合わせがあるので注意してください。

(注2) 「地理歴史」、「公民」及び「理科」において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください(第1解答科目の成績を合否判定に利用します)。

なお、指定する科目を第1解答科目で受験せず、第2解答科目(試験時間中の後半で解答する科目)で受験している場合、失格にはなりません(その科目の成績は0点として扱いますので注意してください)。

※ 表中の大学入学共通テストの科目名は、次のように略してあります。

「地理総合、地理探究」→地総地探 「歴史総合、日本史探究」→歴総日探 「歴史総合、世界史探究」→歴総世探 「公共、政治・経済」→公共政経

「数学Ⅰ、数学Ⅱ」→数ⅠA 「数学Ⅲ、数学Ⅳ」→数ⅢA 「数学Ⅴ、数学Ⅵ」→数ⅤA

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」→「物基／化基／生基／地基」 「物理」→物 「化学」→化 「生物」→生

「英語」→英 「ドイツ語」→独 「フランス語」→仏 「中国語」→中 「韓国語」→韓

平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程履修者への経過措置科目

「旧世界史B」→旧世B 「旧日本史B」→旧日B 「旧倫理、旧政治・経済」→旧倫政経

「旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ」→旧数ⅠA 「旧数学Ⅲ・旧数学Ⅳ」→旧数ⅢA

※ 複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となるパターンで判定を行います。

個別学力検査等の出題教科・科目等

出題教科・科目等	出題範囲等
国語(現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語・国語表現・古典探究)	
理科 ☐ <物理基礎・物理> <化学基礎・化学> ☐ から1つ選択	どちらかの教科を選択します。
数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ・数学Ⅵ)	
地理歴史 ☐ <歴史総合・日本史探究> <歴史総合・世界史探究> ☐ から1つ選択	どちらかの教科を選択します。
外国語(英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ)	「外国語検定試験の成績の利用」の項を併せてご参照ください。

● <一般選抜(前期日程)>

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等					合計
国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	情報	計	国語または理科	数学または地理歴史	外国語	計	
100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300	300	900	1,375

- *印は『地理歴史・公民から1科目、理科から2科目』、又は『地理歴史・公民から2科目、理科から1科目』のいずれかで受験するパターンにおいて、2科目として受験した教科に対してのみ適用される配点です。
- 大学入学共通テストにおける地理歴史・公民の「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲のうち2つ(各25点満点)を選択解答した合計点(50点満点)を1科目分の点数とします。
- 大学入学共通テストにおける理科の「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲のうち2つ(各25点満点)を選択解答した合計点(50点満点)を1科目分の点数とします。
- 大学入学共通テストの外国語の英語については、リーディングとリスニングの合計点を100点満点(リーディング80点満点、リスニング20点満点)に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいてリスニングが免除された者は、リーディングの得点を100点満点に換算します。

外国語検定試験の成績の利用

概要

一般選抜(前期日程)での受験希望者については、実用英語技能検定、GTEC等の外国語検定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得していれば、個別学力検査の「外国語」の得点を満点に換算、又は「外国語」の得点に、満点を上限として所定の点数を加算することができます。

- 点数の加算は満点を上限とします(例:外国語で290点を取得、外国語検定試験により40点を加算した場合、満点の300点として扱います)。
- 個別学力検査の「外国語」の得点を満点に換算した場合、個別学力検査の「外国語」の受験を免除します(所定の点数を加算する場合には「外国語」の受験が必要です)。
- 利用できる外国語検定試験は2022年4月1日以降、2024年12月までに受験した試験を対象とし、利用できる試験の種類は1つのみとなります。

換算表

「外国語」の得点換算	Cambridge English	実用英語技能検定(英検) ^{*1}	GTEC ^{*2}	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W ^{*3}
満点換算	176以上	2500以上	1350以上	6.5以上	375以上	740以上	80以上	1760以上
		1級又は準1級						
40点加算	160以上	2300以上	1190以上	5.0以上	309以上	600以上	62以上	1560以上
		1級又は準1級						

- *1 実用英語技能検定(従来型、英検S-CBT、英検S-Interview)については、合格・不合格にかかわらず、英検CSEスコアで判定します。
例 1級又は準1級を受験し、2300以上2500未満のスコアを取得している場合、個別学力検査の外国語の得点に40点加算します。
- *2 GTECは4技能のオフィシャルスコアのみ有効とします。
- *3 「TOEIC L&R」及び「TOEIC S&W」両検定試験の受験及びスコアを必須とします。また、スコアは「TOEIC S&W」のスコアを2.5倍にして合算したものとします。

選抜方法等の詳細については、必ず「令和7年度入学者選抜要項」及び「令和7年度一般選抜学生募集要項」で確認してください。

● <総合型選抜>

入学者選抜日程等

出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続締切日
2024年9月4日(水)～11日(水)	2024年10月26日(土)～27日(日)	合格内定者:2024年11月22日(金) 最終合格者:2025年2月12日(水)	2025年2月19日(水)

入学者選抜方法等

選抜科目	選抜期日等	選抜方法等
課題論述	2024年10月26日(土) 13:00～16:30	文理混合による課題解決に向けた資質と適性を評価するため、資料の理解力、論理構成力、科学・統計リテラシーを問う課題を課します。なお、資料の一部に英文資料を含みます。(辞書の持ち込み及び使用はできません。)
集団面接及び個別面接	2024年10月27日(日) 9:00～	集団面接及び個別面接をそれぞれ実施します。なお、個別面接においては、提出された「自己推薦書」及び「学びの履歴書」(今まで行ってきた「学び」の活動に関する報告)に関する質問を含みます。
大学入学共通テスト	2025年1月18日(土)・1月19日(日)	<一般選抜(前期日程)>と同様の指定教科・科目を受験してください。 最終合格基準:総得点が70%に達していること。

課題論述、集団面接及び個別面接の合計点による合格者を「合格内定者」とし、「合格内定者」のうち、大学入学共通テストの合否判定の基準に達している者を「最終合格者」とします。

選抜方法等の詳細については、必ず「令和7年度国際教養学部総合型選抜学生募集要項」で確認してください。
※日程や内容が変更する可能性があります。その場合は国際教養学部ウェブサイト等で周知します。

Student Voices

在学生からの声

日本の中にある国際化に気づく

3年 皆 上 直 香

私は外国につながる子どもの日本語支援活動に取り組んできました。きっかけは国際教養学部で1年次の授業で日本語支援が必要な児童について学んだことでした。皆さんの中にも小中学校で、海外にルーツを持つクラスメイトがいた方もいると思います。現在日本では全国的にそういった状況が見られる一方で、地域や学校によっては必要な支援が追いついていません。私はその問題に関心を持ち、2年次から地域の小学校と連携した、オンラインでの国際学級の子どもへの日本語支援活動を行っています。

さらに海外の日本語教育にも関心を持ち、2024年春にラオスの学校で2週間のインターンシップを行いました。現在は日本語教育や国際的に移動する子どもたちに関連した勉強や活動に力を入れています。

高校時代は世界の貧困問題や気候変動など、日本の“外”で起こっていることに関心がありましたが、大学入学後は多角的に日本と世界を捉えるようになり、国内の国際化とそれに伴う問題を意識するようになりました。また、自ら主体性をもって学びを深めていく姿勢が身に付いてきたと思います。

国際教養学部にはさまざまな分野の先生がいて、授業や海外渡航プログラムを通して幅広い視点を養う環境が整っています。国際教養学部で自分だけの専門分野を見つけ、学んでみませんか。



「自分だけの挑戦」ができる場所

3年 小 林 快 渡

私は大学入学時から地域創生に関心を持ち、学習を続けています。

国際教養学部では、学生の関心に合わせて学びを深める手段として授業選択や副専攻の履修、留学などが幅広く用意されています。2年生の夏には、副専攻「ローカル・イノベーション学」の一環として、台湾からの留学生とともに課題解決型のプログラムに参加しました。実際に千葉県内の市町村に足を運び、現地の人たちや留学生の声に基づいて地域課題の解決案を提案することで、地域との関わり方や外部の視点の取り入れ方を身に付けることができました。

また、2年生の秋から半年間、派遣留学プログラムを活用して、チェコ共和国・オストラバ大学で学びました。都市内の移動手段や地理の観点から都市に関する知見を深めることで、今まで漠然と住んでいた千葉のまちを相対化して考えるきっかけになったと思います。

これらの経験を経て、これからも自分なりに考え、自分なりの地域との関わり方を探究していきたいと感じました。国際教養学部はそれを実現できる環境が整っているので、みなさんも入学した際には、それぞれの思いのもと、「自分だけの挑戦」をしてみてください。



個々のやりたい分野を伸ばす学部

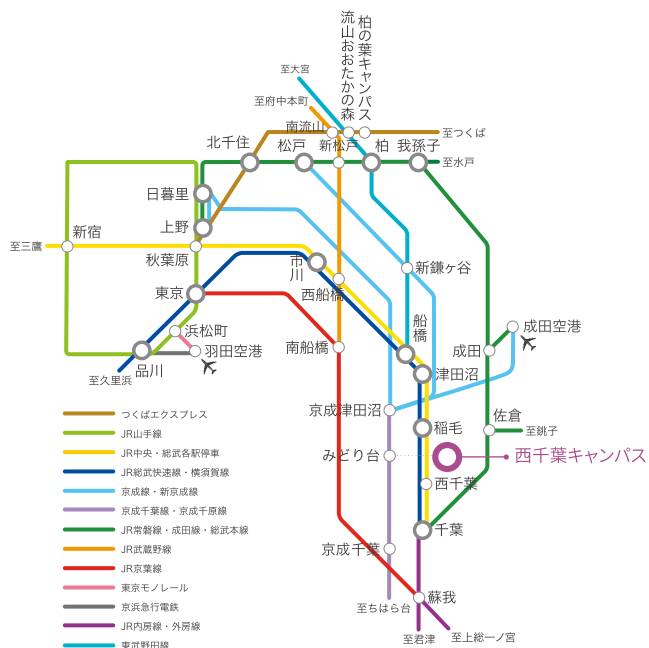
3年 豊 口 里 菜

高校生の頃から地球温暖化問題への興味や海外への憧れを持っており、これまで大学内外で国際交流や環境政策における様々な活動に参加してきました。千葉大学には国際交流を深める機会が多くあり、留学生交流を促進する学生団体のリーダーや日本語ボランティアの経験、ドイツ、チェコでの短期留学プログラムへの参加を通して宗教や文化などにおける社会問題に気付き、視野を広げることができました。

また、学外での活動としてカンボジアの公立学校に英語を教えに行くインターンシップを経験した際に、カンボジアの街づくりを通して貧困、教育、大気汚染などの社会問題の解決に取り組んでいきたいと考えるようになりました。今後は派遣留学プログラムでフィンランドに1年間渡航し、環境政策について学ぶ予定です。

大学卒業後は、環境先進国であるドイツの大学院で持続可能な街づくりについて専門的に学び、将来はカンボジアの様々な社会問題に配慮した街づくりに関わっていきたくて考えています。国際教養学部は自分のやりたいことを伸ばし、学びをカスタマイズできる学部です。それぞれ違う分野に興味がある学生が集まっているからこそ見つけられる発見があると思うので、入学した際には、様々なことにチャレンジして自分の実現したい将来に向かって全力で進んでいってください。





- ・ JR品川駅・東京駅から - JR総武線(快速)利用の場合:「稲毛」駅で総武線(普通)に乗換え「西千葉」駅下車、徒歩約2分(キャンパス南門)
- ・ JR秋葉原駅から - JR総武線(普通)利用の場合:「西千葉」駅下車、徒歩約2分(キャンパス南門)
- ・ 京成線上野駅から - 京成本線利用の場合:「京成津田沼」駅で京成千葉線に乗換え「みどり台」駅下車、徒歩約7分(キャンパス正門)



国立大学法人 千葉大学

国際教養学部

E-mail: 総務担当 las-soumu@chiba-u.jp
学務担当 las-gakumu@chiba-u.jp

<https://www.las.chiba-u.jp/>
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

